

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 7月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 柳影澤螢火』	○			
	『流星』	○			
	『江戸絵両国八景 荒川の佐吉』	○		○	○
	『寿三升景清 歌舞伎十八番の内 鎌髭』	○			
	『寿三升景清 歌舞伎十八番の内 景清』	○			
新橋演舞場	『レビュー夏のおどりOSK日本歌劇団』	○		○	○
	『愛の設計図』	○			
	『藤山寛美二十七回忌追善ご挨拶』				
	『浪花の夢 宝の入船』	○		○	○
	『松竹新喜劇十八番の内 夜明けのスモッグ』	○			
	『はるかなり道頓堀』	○			
	『舟木一夫シアターコンサート in 新橋演舞場』			○	○
	『桂歌丸芸歴六十五周年記念落語会』			○	
サンシャイン劇場	『ミュージカル グレイト・ギャツビー』			○	○
松竹座(大阪)	『小さん金五郎』	○			
	『夕霧名残の正月 由縁の月』	○			
	『与話情浮名横櫛』	○			
	『鬼一法眼三略巻 菊畑』	○		○	○
	『五代目中村雀右衛門襲名披露口上』				
	『鳥辺山心中』	○			
	『芋掘長者』	○			
まつもと市民芸術館	『四谷怪談』	○		○	
巡業 (公文協中央コース)	『歌舞伎の見方』	○			
	『歌舞伎十八番の内 鳴神』	○		○	
	『文売り』				
	『三社祭』				
巡業 (公文協東コース)	『ご挨拶』				
	『晒三番叟』	○		○	
	『秀山十種の内 松浦の太鼓』	○			
	『栗餅』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂ACTシアター	6月	『コインロッカー・ベイビーズ』プログラム
赤坂RED/THEATER	6月	悪い芝居『メロメロたち』プログラム
	7月	東京マハロ『女子穴』プログラム
ザ・スズナリ	7月	花組ヌーベル『恐怖時代』プログラム、台本 燐光群『ゴンドララドンゴ』プログラム
大阪新歌舞伎座	6月	『島津亜矢特別公演』プログラム
	7月	『だいこん役者』プログラム
下北沢駅前劇場	6月	イエティ『ヤだなコワいななんかヘンだな』プログラム
国立劇場大劇場	7月	『卅三間堂棟由来』プログラム
国立劇場小劇場	6月	『伝統芸能の魅力 雅楽・日本舞踊・声明・邦楽を楽しみ』プログラム 『文楽若手会』プログラム
国立文楽劇場	6月	『文楽鑑賞教室』プログラム 『文楽若手会』プログラム
	7月	TRASHMASTERS『殺人者J』プログラム
すみだパークスタジオ倉	7月	猫のホテル『苦勞人』プログラム
中日劇場	7月	『五木ひろし納涼特別公演』プログラム
天王洲銀河劇場	6月	劇団スイセイ・ミュージカル『ALICE』プログラム
東京国際フォーラムホールC	7月	ミュージカル『マイフェアレディ』プログラム
博多座	7月	『梅と桜と木瓜の花』プログラム
ハーフムーンシアター	7月	風琴工房『i n s i d e r』プログラム
北とぴあつつじホール	7月	AKTステージ『あゝ同期の桜/初級革命講座飛龍伝』プログラム
本多劇場	6月	劇団東京乾電池『ただの自転車屋』プログラム
三越劇場	7月	品川恵子ひとり芝居『海を渡って 女優貞奴』プログラム 名作ミュージカル『眠れる森の美女』プログラム
明治座	7月	『島津亜矢特別公演』プログラム
ルネッサながと	7月	『第四回ながと近松文楽』プログラム、床本

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2016年8月	『演劇界』2016年7月号
『JPL』2016年SUMMER No. 62	『義太夫』103号
『あぜくら』2016年7月号	『国立演芸場公演ガイド』平成28年8月号
『おもだかニュース』2015年3月号-2016年7月号	『伝統文化新聞』2016年(122号)
『シアターガイド』2016年9月号	『日本演劇興行協会会報』2016年(50号)
『ステージぴあ』2016年7+8月号(25)	『日本芸術文化振興会ニュース』平成28年8月号
『テアトロ』2016年7月号臨時増刊号(920号)	『日本照明家協会誌』2016年7月号
演劇名鑑2017年度版,2016年8月号	『日本舞踊』68巻7月号,8月号
『ミュージカル』2016年7月-8月号	『悲劇喜劇』2016年7月号
『ラ・アルプ』2016年8月号	『文学座通信』2015年4月-2016年8月
『演劇ぶっく』2016年8月号	『邦楽の友』平成28年8月号

■ 映画雑誌 ■

『NFCカレンダー』2016年7月-8月号	『映画時報』2016年2月号,3月号,4月号,5月号, 6月号,7月号
『NFCニューズレター』2016年6月-7月号	『映画秘宝』2016年9月号
『SCREEN』2016年9月号	『衛星劇場プログラムガイド』2016年8月号
『キネマ旬報』2016年8月上旬号	『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No. 34
『シナリオ』2016年9月号	『松竹(社報)』2016年(194号)
『シナリオ教室』2016年8月号	『東映キネマ旬報』2016年夏号Vol. 27
『ドラマ』2016年8月号	『日経エンタテインメント!』2016年8月号
『ロケーションジャパン』2016年8月号	『友 I w a n a m i H a l l 』2016年夏号
『映画テレビ技術』2016年8月号	
『映画ビジネス』平成28年5月特別号	

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『HIGH&LOW THE MOVIE』	○	○	○		
『ブラー：ニュー・ワールド・タワーズ』	○		○		
『秘密 THE TOP SECRET』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- | | | |
|---|---------------------------|----------------------|
| 『生きうつしのプリマ』 | 『ロスト・バケーション』 | 『ターザン REBORN』 |
| 『アクセル・ワールド INFINITE∞BURST』 | | 『アウトバーン』 |
| 『マネーモンスター』 | 『ヒメアノ〜ル』 | 『シークレット・アイズ』 |
| 『ヘイル、シーザー!』 | 『64 ロクヨン 前編』 | 『64 ロクヨン 後編』 |
| 『世界から猫が消えたなら』 | 『手をつないでかえろうよ シャングリラの向こうで』 | |
| 『追憶の森』 | 『第2部 亜人 衝突』 | 『マイケル・ムーアの世界侵略のススメ』 |
| 『ちはやふる 上の句』 | 『ちはやふる 下の句』 | 『スティーブ・ジョブズ』 |
| 『ルーム』 | 『サウスポー』 | 『スノーホワイト 氷の王国』 |
| 『神様メール』 | 『エクスマキナ』 | 『シビル・ウォー キャプテン・アメリカ』 |
| 『アイアムアヒーロー』 | 『暗殺教室 卒業編』 | 『見えない目撃者』 |
| 『ガラム・ウォーズ』 | 『マクベス』 | 『スポットライト 世紀のスcoop』 |
| 『名探偵コナン 純黒の悪夢 (ナイトメア)』 | | 『ディーパンの闘い』 |
| 『映画クレヨンしんちゃん 爆睡!ユメミーワールド大突撃』 | | 『クーパー家の晩餐会』 |
| 『映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生』 | | 『黒崎くんの言いなりになんてならない』 |
| 『RADWIMPSのHESONOO Documentary Film』 | | |
| 『ズートピア』 | 『高台家の人々』 | 『マネー・ショート 華麗なる大逆転』 |
| 『レヴェナント：蘇えりし者』 | 『リリーのすべて』 | 『Mr. ホームズ 名探偵最後の事件』 |
| 『Born in the EXILE 三代目J Soul Brothersの奇跡』 | | |
| 『デッドプール』 | 『エヴェレスト 神々の山嶺』 | 『インサイダーズ 内部者たち』 |
| 『アールと少年』 | 『ウォークラフト』 | 『MARS ただ、君を愛してる』 |
| 『ペレ 伝説の誕生』 | 『TOO YOUNG TO DIE!若くして死ぬ』 | |
| 『帰ってきたヒトラー』 | 『インデペンデンス・デイ：リサージェンス』 | |
| 『存在する理由 DOCUMENTARY of AKB48』 | 『10 クローバーフィールド・レーン』 | |
| 『WE ARE YOUR FRIENDS ウィー・アー・ユア・フレンズ』 | | |
| 『アリス・イン・ワンダーランド 時間の旅』 | | |

≫≫ 資料提供 (2016年6月~7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 「生誕100年 映画監督・小林正樹」2016年7月16日~9月15日 世田谷文学館2階展示室
映画ポスター『まごころ』『この広い空のどこかに』『三つの愛』『美わしき歳月』『あなた買います』『泉』を展示に提供

出版

- 『松竹(社報)194号』2016年7月20日 松竹株式会社
『松竹社報』第105号(1951年1月)を記事に提供

プログラム掲載

- 『七変化 ねずみ小僧捕物帳』2016年6月1日~19日 大阪松竹座
『キネマ旬報』428号より「鼠小僧次郎吉」広告ページを公演プログラムの記事に提供
- 「六月博多座大歌舞伎」2016年6月2日~26日 博多座
三代目中村雀右衛門スチール写真『籠釣瓶花街酔醒』『芦屋道満大内鑑 道行』『本朝廿四孝 奥庭』を公演プログラムの記事に提供

(資料提供 続き)

放送

- 『溝口健二没後 60 年特番』 2016 年 6 月 4 日 10:45～11:00(6 月中に 10 回、7 月にも放送あり) CS 衛星劇場 映画『浪華悲歌』『元禄忠臣蔵』『祇園の姉妹』の台本やスチール写真、溝口健二ポートレート、松竹京都撮影所外観のスチール写真などを提供
- 『ファミリーヒストリー 小野武彦』 2016 年 7 月 21 日 19:00～20:15(再放送あり) NHK 総合テレビ 警視庁検閲台本『大村益次郎』(昭和 10 年 10 月東京劇場上演) の表紙 1 カットを提供

その他

- 「第 12 回ビジネスフェア&第 7 回さわやか信用金庫物産展」「大田区立南蒲小学校社会科見学」 2016 年 6 月 7 日 大田区産業プラザ(Pio)
松竹キネマ蒲田撮影所関連資料(映画『路上の霊魂』『突貫小僧』『マダムと女房』『キネマの天地』等のスチール写真、台本、撮影所外観写真、関連図書、雑誌など)を、会場内の特別展示コーナーに提供。また会場内で行われた WebTV インタビュー時でも映写に提供。松竹キネマ蒲田撮影所をテーマとした社会科見学特別授業では、撮影所関連資料 23 点を授業で使用した映像に提供

「NAKABAYASHI FAIR 2016」参加レポート



松竹大谷図書館では、多くの劇場のプログラムや雑誌を半年や 1 年分ごとに合本して整理しています。その製本作業を発注しているのが、ナカバヤシ株式会社です。

今回、そのナカバヤシさんが開催する一般には非公開の「NAKABAYASHI FAIR 2016」に、2016 年 7 月 7 日、関係者のみのご招待ということで飯塚と酒井がお邪魔してみました！

会場で受付をした後、最初に案内されたのは、補修の実演ブース。今回は、傷んだ和綴本の頁が、1 枚ごとに裏打ちされていく様子を見学しました。虫食いのある紙が、ものの 5 分ほどできれいに、そして丈夫になって

仕上がりました。そこで使われていたのは、ナカバヤシさんオリジナルの何度も糊をつけてもはがせるシートです。これは垂涎ものでした。



ほかにも、複数のコードを一度に認識できる二次元カラーコード（カメレオンコード）により、図書館の蔵書管理の効率化を図るソリューション提案コーナーや、物流のシステムに活用されるセンサーとシステムを間近に体験しました。

書籍の電子化など時代の流れで本来の製本業務の需要が少なくなっているため、ナカバヤシさんでは、製本や修復の技術を継承する人材を確保するため、地域の休耕田などを活用し農業も行っています。工場内でも空きスペースを使って、水耕栽培で野菜を育てることもしているそうです。

次に案内された別のお部屋では、グループ会社の手掛ける様々な商品が一堂に会していました。

チャイルドシートや歩行車、防災グッズ、紙の厚みはそのまま、同じページ数なのに 1 冊あたり 20%も軽いノート、各国の国旗や花札の絵柄で折り鶴を作る折紙や、折紙で作れるお寿司などのペーパークラフト類、スーツケース全体を覆える様々な絵柄のカバーなど、バラエティーに富んだ便利なグッズばかりでした。

様々な分野に及ぶ展示を前に、有意義な時間を過ごすことができました。



世田谷文学館『生誕100年 映画監督・小林正樹』

日本を代表する映画監督の一人、小林正樹の生誕100年記念プロジェクトの一環として、展覧会『生誕100年 映画監督・小林正樹』展が7月16日から世田谷文学館で始まりました。

小林正樹監督は、1916年北海道に生まれ、早稲田大学では東洋美術を専攻し、美術史研究家で書家でもある會津八一を生涯の師と仰ぐようになります。卒業後松竹大船撮影所に入社したのち出征。復員してからは木下恵介監督の下で助監督を務め、1952年『息子の青春』で監督デビューし、以後『壁あつき部屋』(1956年)『人間の條件』(1959-1961年)『切腹』(1962年)『怪談』(1965年)『上意討ち 拝領妻始末』(1967年)『東京裁判』(1983年)など、戦争や理不尽な社会の問題を提起する気概のある作品を発表し続け、海外でも高い評価を得ています。

この展覧会で刮目するのは、初期をふくめた作品すべてを網羅した膨大な量の資料です。助監督時代に考案して木下恵介監督に重宝がられたという、卷子状のカット表という珍しいものもあり、台本に細かく書込まれた指示などもあわせて監督の誠実で几帳面な仕事ぶりがうかがえます。

代表作で人気の高い『切腹』や、初のカラー作品で、監督が自ら色彩設計を手掛け細部にまでこだわった『怪談』などはコーナーが作られ、台本や、ポスターなどのほか美術の参考のために監督が作成した資料や、『怪談』の中で使用した中村正義画『源平海戦絵巻』などを映像の一部も使いながら、展示しています。

恩師會津八一はじめ、交流のあった人々との書簡やはがきも多数あり、映画製作の過程や監督のこだわりなども垣間見ることができます。會津八一に、「映画関係者（小津安二郎監督や田中絹代、佐田啓二など）から揮毫いただきたいと頼まれたので無理を承知でお願いします」と依頼し、結局自分の分も含めて十点近くも描いてもらったという微笑ましい一連のやり取りもあり、おそらくその際に手に入れたのであろう軸も書齋を再現したコーナーに飾られていました。父親の従兄妹に当たる田中絹代との交流をしめす写真もあり、晩年身寄りのない彼女を支えた監督の人柄もしのべれます。

一人の監督の回顧展として、資料の数においても質においてもすばらしい展覧会ですが、これもひとえに監督旧蔵のコレクションを散逸させず、整理を続けられた小林正樹監督遺託業務世話人会・芸游会のみならず、地道に資料を研究し準備された世田谷文学館のみならずの努力の結晶です。松竹大谷図書館からも、監督の松竹時代の作品のポスター『まごころ』(1953年)『この広い空のどこかに』(1954年)『三つの愛』(1954年)『美わしき歲月』(1955年)『あなた買います』(1956年)『泉』(1956年)など6作品7点を展覧させていただいていますが、これら初期作品のポスター類は今回、展覧会のために調査した結果フィルムセンターや当館に残っていることが分かったとのことで、世田谷文学館の学芸員さんからも大変喜ばれました。会場にいろどりを添えるお手伝いが出来、当館もうれしく思っています。

会場の世田谷文学館は、京王線芦花公園駅から10分弱、閑静な住宅街にあります。

展覧会は9月15日までですので、ぜひご高覧ください。



当館での、世田谷文学館への貸出の際の学芸員さんによるチェックと、梱包の様子です。

世田谷文学館『生誕100年 映画監督・小林正樹』

[会期]2016年7月16日(土)～9月15日(木)※月曜休館

[会場]世田谷文学館2階展示室

[住所]〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

[電話]03-5374-9111

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に持続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年7月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアタース

どうもありがとうございます

■ 夏期特別整理休館のお知らせ ■

平成28年8月16日（火）より

8月29日（月）まで

資料整理のため休館いたします。

8月30日（火）より通常通り開館

いたします。

■ 編集後記 ■

▼いよいよオデジャネイロ・オリンピックが始まりましたね！このニューズレターが発行されるころには、日本はメダルを取っているでしょうか？ところで当館閲覧室の小さなショーケースで行っている展示ですが、前回の2012年のロンドンオリンピックのときには「オリンピック映画」展と題して、夏季オリンピックのドキュメンタリーや実話をドラマ化した映画資料の展示を行いました。『炎のランナー』（1924年パリ・オリンピック）、『民族の祭典』（1936年ベルリン・オリンピック）、『東京オリンピック』（1964年東京オリンピック）、『時よとまれ 君は美しい ミュンヘンの17日』（1972年ミュンヘン・オリンピック）などの作品の資料を展示しました。4年後には、再び東京でオリンピックが開催されます。1964年の東京オリンピックでは、巨匠・市川崑監督による『東京オリンピック』が製作され、単なる記録映画に止まらない創作的な映像のため、「記録か芸術か」という論議が沸き起こりました。2020年の東京オリンピックでも、このようなスケールの大きい記録映画が作られるのでしょうか？もし製作されるとしたら、監督は誰だろうか？そんなことも想像してみたりする、ニューズレター発行日5日前の、金曜日の午後でした。

● 利用案内 ●

開館時間
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

入館料 無料
閲覧 館内閲覧のみ

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

